



報道関係各位

2009年10月9日
緑内障フレンド・ネットワーク

世界緑内障の日記念
「緑内障市民公開講座」開催
スロウダウン緑内障 ～緑内障治療の道しるべ～
日時:2009年11月15日(日) 14:00～16:00
場所:ホテル JAL シティ那覇 1階 宴会場

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,641名)は、2009年11月15日(日)、那覇市・ホテル JAL シティ那覇にて、一般の方を対象に「緑内障市民公開講座」を開催いたします。

この「緑内障市民公開講座」は、世界各国の緑内障学会が加盟する World Glaucoma Association(WGA)、ならびに緑内障患者団体が加盟する World Glaucoma Patient Association(WGPA)が、2008年より毎年3月の「世界緑内障の日」制定を記念して行っている啓発活動の一環として開催するものです。なお今回は、11月13(金)から15日(日)、沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)にて「第20回日本緑内障学会」が開催されるのに合わせ、沖縄県での開催となりました。

緑内障は、視神経が損傷を受け視野が欠けていく病気です。治療をせず放置すると失明する危険性があり、早期発見、早期治療が重要です。世界では緑内障により失明している人は約670万人、患者は約7,000万人いると言われており、2020年にはその数が8,000万人になると予測されております。日本では、40歳以上の20人に1人が発症しており、中途失明につながる視覚障害の原因の第1位であることが明らかになっています(2006年厚生労働省調査)。

沖縄県では、特に「閉塞隅角緑内障」というタイプの発症頻度が高いと言われております。このタイプの緑内障は、激しい目の痛みや頭痛、吐き気を伴う発作を起こし、突然失明してしまうケースもあれば、自覚症状が無いまま症状が進み発見が遅れがちになる場合もあります。また「閉塞隅角緑内障」は、遠視の人や女性に発症リスクが高いと言われております。失明を未然に防ぐためにも、眼科専門医での定期的な検査が重要です。

緑内障フレンド・ネットワークでは、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につながるよう、日本緑内障学会の後援のもと、緑内障専門医による講演を下記要領にて開催いたします。報道関係のみなさまにおかれましては、ぜひ本講座の趣旨をご理解いただき、告知にご協力いただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

日 時: 2009年11月15日(日) 14:00～16:00 (13:00開場)
場 所: ホテル JAL シティ那覇 1階 宴会場
(那覇市牧志1-3-70) 代表 TEL:098-866-2580
対 象: 一般
プログラム: 講演 1)「緑内障って、な～に？」
岐阜大学医学部 眼科 教授 山本 哲也 先生
2)「緑内障アイランド沖縄の秘密」
琉球大学医学部 眼科 教授 澤口 昭一 先生
参加費: 無料
定 員: 90名(事前申込不要。)
主 催: 緑内障フレンド・ネットワーク
後 援: 日本緑内障学会

<お問い合わせ先> 緑内障フレンド・ネットワーク事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-16-501 TEL:03-3272-6971(担当:野田)

会場地図:



<交通のご案内>

モノレール「牧志駅」で下車、国際通りをまっすぐ県庁方面へ南下。てんぷす那覇、三越前を通り過ぎ、直進で徒歩約6分。右手にホテルがあります。

緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症していると言われ、視覚障害(中途失明)の原因の第1位となっています。

沖縄県では「閉塞隅角緑内障」というタイプの緑内障が全国と比べて多いと言われています。このタイプは、遠視の人や女性に発症リスクが高いと言われています。激しい目の痛みや頭痛、吐き気を伴う発作から突然失明してしまうケースもありますが、自覚症状が無いまま症状が進み発見が遅れがちになることもあります。失明を未然に防ぐ早期発見、早期治療のため、眼科専門医での定期的な検査が重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社トークス TEL:03-3261-7715 FAX:03-3261-7174 (担当:養祖/古家)
ようそ こいえ